

ひとり情シスのIです。

Windows7からWindows10へ移行の続きです。

いよいよ、必要な予算の見積もりまで来ました。この見積もりもPCハード、PCソフト、ネットワーク機器の順に説明します。今日はPCハードの説明です。

企業向けに新規にWindows10PCを購入する場合は、以下に気を付けます。

1. 大手メーカー品の新品を購入
2. OSのエディションはPro以上を選択
3. 導入する機種は可能な限り機種をそろえる
4. CPUは可能であればCorei3以上を

順番に説明しますと、1は出荷台数が多い分だけ同じスペックであれば安いことがあげられます。CPUやハードディスクも大手PCメーカー向けに特別の割引価格を用意しているためです。あと、サポート体制や色々な情報が集まりやすいこともあります。ちなみに弊社はDellとFujitsuの製品を導入しています。

2は家庭用向けエディションのHomeだと、Windowsの大型アップデートを延長することができません。春か秋にある日突然、アップデートがありますと出て、何も考えずにOK押すと何時間もアップデートに時間がかかり、その間Windows10が使えなくなった経験はないでしょうか。

個人なら「アップデートかあ、しょうがないなコーヒーでも飲んで待ってるか。」と、それでも構いませんが、会社でそのようなことが起きたらどうでしょうか。Proであれば大型アップデートを何日後にするかの設定ができるので、その心配はありません。

3は、例えば各社員全部違うメーカーのPCだとしたら、セットアップするたびに、手順を一から覚えなおさないといけないので、メンテナンスするほうも大変です。機種が2, 3種程度であれば、2台目以降のセットアップは楽になり、予備機で同じ機種を用意しておけば、設定するほうも楽で、使うほうも違和感なく使用できます。

4は、とにかく安いPCをとということで、一番安いのを買くと、遅いしすぐに使えなくなります。最低のCeleronを4万ぐらいで買うよりは、1, 2万ぐらい余計に出資して5, 6万のCorei3にしたほうが、使用者も速くて快適、経営側もより長く使えるということで、お互いに良いです。CADを使用しているのであれば、Corei5以上にして、メモリも8M以上をすることをお勧めします。

逆に避けたほうが良いことを以下に上げます

- ・中古PCの購入（出自が不明、HDD等の消耗、よくわかってないと却って損することも）
- ・ドンキの2万円PC（新品でも安すぎるので劇遅。個人でちょっとネット見る程度なら構いませんが。。。）
- ・自作PC（オタク社員がいるうちはいいが、辞めた後はブラックボックス。しかも割高、保証もなし）

見積もりの話をする前に、終わりに来たので、続きはまた明日。(I)